

2007年(平成19年)10月11日

バタフライ弁に適応

内視鏡システム
NBB-15 来年1月販売

日本水機調査

日本水機調査(山本政和社長)は、従来対応していなかったバタフライ弁形補修弁に内視鏡カメラを挿入できる調査機器システム「NBB-15」を開発し、来年1月から販売を開始すると発表した。

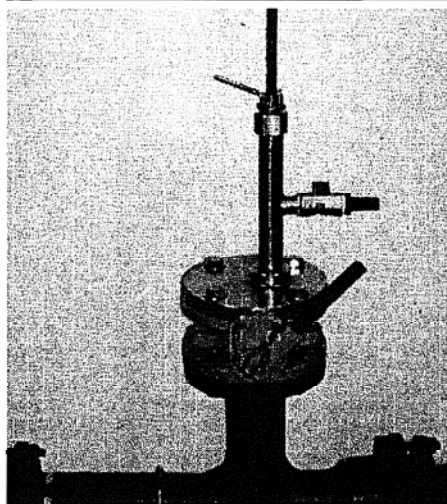
同社がこれまで開発してきた内視鏡カメラシリーズ「NQ-15」「NP-15」では、バタフライ弁形補修弁からカメラを挿入することが不可能であり、調査の依頼を受けた企業からバタフライ弁形補修弁を使用する水道管路が多く存在しているとの報告を受けていたものの、手付かずの状態とな

っていた。

このため同社では、これに対応する内視鏡調査システムの開発に取り組み、その結果新たに現場に対応する治具の開発に成功し、今回の製品化に漙き着けた。

また同システムはオプシヨンプ部品を使用することで、サドル分水栓からもカメラを挿入することが可能。

同システムは、口径16mmカメラヘッド、高剛性カメラ



NBB-15挿入状況

ケーブル、カメラヘッド送り出し装置、挿入シャフト、取付本体、ケーブルドラム、制御ボックス、小型液晶モニター、補修弁取付用フランジなどで構成。

管の口径は20～150mmまで適応。耐水圧力は0.75MPa。カメラケーブルの長さは15mで、調査有効長は10～13mの範囲。

正式発売は来年1月を予定しており、販売予定価格は1セット240万円と見込んでいる。